

喪失。抑うつの内容が前景。自殺念慮。

- 5) 高度。抑うつの身体的徴候を示す広範囲で重篤な抑うつ。抑うつ性妄想。死や自殺への没頭。
- 6) 非常に高度。抑うつ性昏迷もしくは激越。はなばなしい抑うつ性妄想。自己破壊的行為。

10. 敵意

他者に対する敵意。軽べつ、憎悪の表情。面接場面外のイライラした、敵対的、攻撃的行為で患者自身により報告され、最近の病歴から知られているもの。面接者に対する敵意は非協調性の項で評価する。

問. まわりの人とはどうですか。まわりの人があなたをイライラさせたりしますか。人と口論しますか。どの位おこるのですか。人に怒鳴ることがありましたか。怒って、人をなぐったことがありますか。

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。他人への過度の非難。
- 2) 軽度。嫌悪。あらさがし。憤り。焦燥。
- 3) 中等度。顕著な焦燥。敵対的態度。告発。侮辱。言語的脅迫を呈する怒りの爆発。
- 4) やや高度。頻回の言語的攻撃性。時々身体的攻撃性。
- 5) 高度。全般性の言語的攻撃性。頻回の身体的攻撃性。破壊的行為を呈する持続性の緊張した敵対的態度。
- 6) 非常に高度。無差別の持続性の言語的および身体的攻撃性（どなり声での侮辱と脅迫。家具をこわす。近づく人をなぐる。）

11. 疑惑

患者に対し他者からの悪意や妨害または差別待遇があるという確信。自意識の増加や軽度の疑惑から関係念慮や迫害妄想まで含める。ここには妄想気分も含める。

問. 人が特別な注意をあなたに払っていると感じますか。（どんなことからそう考えるのですか。）

人があなたのことを批判して話しているとか、笑っているようですか。（例えばどんなことですか。）

周囲の人があなたについてほのめかすとか、裏の意味のあることを言っているようですか。いろいろは事柄が特別に処理されているようですか。テレビや新聞で、あなたに関係していることが出ますか。

（そのことについてどう説明しますか。）

人のために困難にまきこまれたりしていますか。（だれがするのですか。故意にあなたを傷つけようとする人がいるのですか。そのことについてどう説明しますか。）

説明できないような何か変わった、普通でないことが起こると感じたことがありますか。（どんな風でしたか。）

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。自意識。他人への信頼の欠如。
- 2) 軽度。漠然とした関係念慮。自分のことを笑っている。些細なことで反対されているなどと人を疑う傾向。
- 3) 中等度。被害的態度。関係もしくは迫害念慮。しかしその内容は漠然としていて、弱くて、体系化されてはおらず、残遺的である。
- 4) やや高度。活発で感情面の負担のある被害妄想。いくらかの体系化。あるいは妄想気分。
- 5) 高度。はなばなしく活発に仕上げられた被害妄想体系。もしくは強力な妄想気分。
- 6) 非常に高度。すべてを包括するはなばなしい被害妄想体系もしくは圧倒的な妄想気分。

12. 幻覚

外界からの刺激のない知覚。錯覚や明瞭な精神的表象からは区別する。

問. 誰にでもお聞きするごく当たり前の質問ですが、まわりに誰もいない時とか、他にも何も原因になるようなものがない時に、物音や人の声などがきこえてくるような気がしたことがありますか。（どんな物音ですか。言葉として聞きわかることができますか。幻声はなんと言っていますか。あなたの名前を呼んでいるのですか。あなたのことを「あの人は」などといって噂をしているのですか。あなたのやっていることを批評しているのですか。安心させてくれるのですか。）（だれの声ですか）

見ることでいつもと違った体験をしましたか。ほかの人が見ることでかのようにものをみたことはありますか。（どんなものですか。いつでしたか。おそろしかったですか。完全に目が醒めているとき起こったのですか。）

物のにおいや味がいつもと違うことはありますか。

体の中に変わった感じがありますか。

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。患者の報告する体験の質が幻覚といえるか疑わしい。入眠幻覚。
- 2) 軽度。孤立した断片的幻覚体験（光、自分の名前が呼ばれる）。
- 3) 中程度。言語幻覚もしくは完全に発展した他の感覚の幻覚で、明らかに存在するが出現頻度の稀なもの。言動に影響しない。いくらかの洞察。
- 4) やや高度。頻回の幻覚。患者がそれに反応する。洞察なし。
- 5) 高度。持続性で強度の幻覚。患者の行動を決定する。
- 6) 非常に高度。強大な幻覚。幻覚状態（急性せん妄や急性幻覚症の時のような）。患者は幻覚体験に完全に没頭。接触不可能。

13. 運動減退

運動および会話の速度の量的低下。患者の行動観察のみから評価する。

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。主観のみ。自発性欠如。会話もしくは運動におけるわずかな躊躇。
- 2) 軽度。1と同様でかつ会話に間がある。返答は遅れて、かつ短い。しかし文章は完成している。
- 3) 中等度。運動の減退。会話に自発性がない。声は低い。返答はおくれ、短くあるいは不完全。
- 4) やや高度。表情の変化がすこしもない。運動は遅く、躊躇しがちで、不完全。会話は単語にのみで、ささやくような発語であり、質問された時のみのものである。
- 5) 高度。亜混迷。
- 6) 非常に高度。

14. 非協調性

面接者および面接状況に対する敵意と抵抗。観察に基づく評価。

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。会話と行動が過度に形式的。
- 2) 軽度。ある質問には答えたがらない。面接に対して多少のいらだちを示す。返答が短い。
- 3) 中等度。ある質問には反対する。返答は短いか不明瞭で回避的。面接にたいして明らかにいらだちを示す。面接を最後まで遂行するのが困難。
- 4) やや高度。面接者に対する表だって敵対的態度。面接室を出ようとする。面接を最後まで遂行するのが不可能。
- 5) 高度。診察を受けたり、面接室にはいるのを拒否する。返答は不適切もしくは緘黙。あういは口ぎたない。面接は不可能だが多少の接触はもてる。
- 6) 非常に高度。面接不可能。面接室にはいたり、そこにいることを拒否する。質問や命令に対して従わない。あるいは持続的に攻撃。

15. 思考内容の異常

通常ではみられない、奇妙、奇怪な思考内容。すなわち強迫観念、優格観念、風変りな確信や理論、妄想性の曲解、すべての妄想。この項では内容の非通常性についてのみ評価し、思考過程の解体の程度は評価しない。本面接中の非指示的部分および支持的部分で得られた通常ではみられない思考内容は、たとえ他の項（例、心氣的訴え、罪責感、誇大性、疑惑等）ですでに評価されていてもここで再び評価する。また、ここでは離人症（妄想性のもも非妄想性のもも含める）、病的嫉妬、妊娠妄想、性的妄想、空想的妄想、破産妄想、影響妄想、思考吹入等の内容も評価する。

問. BPRS に明記されていない異常な思考内容を引き出すには、患者の病歴や面接中の行動からの情報に基づいて適切と思われる質問を追加する。

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。孤立した優格観念もしくは通常ではみられない信念、稀な強迫観念。
- 2) 軽度。優格観念、通常ではみられない信念。風変りな理論、強迫観念。
- 3) 中等度。患者にとって相当に重大な意味を持つ奇怪な理論や確信。
- 4) やや高度。奇怪な理論への没頭。もしくは妄想が他の活動を制限し思考内容の前景に立つ。
- 5) 高度。奇怪な理論もしくは妄想が思考内容および行動の大部分を決定する。
- 6) 非常に高度。すべてを包括する奇怪な理論もしくは圧倒的な妄想が行動と思考内容のすべてを決

IX. BPRS・GAF

定する。

16. 情動鈍麻もしくは不適切な情動

感情緊張の低下もしくは不適切、ならびに正常の感受性や興味、関心の明らかな欠如、無関心、無欲症、表現された感情がその状況や思考内容に対して不適切。観察にもとづく評価。

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。感情反応に自発性を欠く。
- 2) 軽度。感情反応は稀で固い。もしくは時に文脈から外れたものである。
- 3) 中等度。無欲的。情感が平板。家族、友人、環境、自分の将来いついてすこしも興味を示さない。妄想のある場合は、その妄想がまだ感情の変化を伴う。不適切に歯をむき出して笑う。
- 4) やや高度。無欲と引きこもり。自分の置かれている状況に無関心。妄想や幻覚が情動的色づけを欠く。不適切は情動。
- 5) 高度。顕著な無欲と引きこもり。興味の欠如。情動の表出が欠如。もしくは非常に不適切。身なりや行動に注意を払わない。
- 6) 非常に高度。完全な無欲と引きこもりに加えて自分に関する基本的な事柄についても注意を払わない。情動は、仮に表出されたとしても非常に不適切。

17. 高揚気分

健康感の増大から、多幸症と軽躁、さらに躁状態と恍惚状態まで。

問. 特に陽気とか、調子が良いとか、調子が高いとか感じますか。普段に比べて休息や睡眠時間が少なくても済みますか。普段より活発ですか。気力や体力があり余ったり、すばらしい考えが出たり、新しい計画を立てたりとか、普段より物を買ったり、余計な金を使ったりしますか。

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。健康感の増大。
- 2) 軽度。幸福で力が充実した感じ。過度に楽天的。多弁、目的ある活動が増加。
- 3) 中等度。調子が高い。興奮している。いつも幸福だ。自分は強いなどと感じる。落ちつかない。イライラ。言語促進。転導性亢進。多動だが目的ある活動が障害される。
- 4) やや高度。歓喜と怒りが交互にあらわれる。持続的にしゃべり、どなり、歌う。観念放逸。意味のある会話が限られている。常に動いている。
- 5) 高度。恍惚もしくは歓喜と怒りが交互にあらわれる。持続的にしゃべり、どなり、歌う。観念放逸、意味のある会話が限られている。常に動いている。
- 6) 非常に高度。5と同じだがその程度が極端。意味のある接触が不可能。

18. 精神運動興奮

会話と行動の量と出現率の増大。観察に基づく評価。

- 0) 症状なし。
- 1) ごく軽度。多弁。
- 2) 軽度。多弁かつ多動。
- 3) 中等度。会話が大声で早い。落ちつかない。運動が早い。目的ある活動が障害される。
- 4) やや高度。会話がとぎれない。頻回な叫び声。常に動いている(徘徊、踊り)。活動が混乱している。
- 5) 高度。混乱して会話がとぎれない(言葉のサラダ、叫んで脅迫する、卑猥な内容、断片的な言葉)。破壊的な行動興奮。
- 6) 非常に高度。持続的で制御不可能な混乱した運動興奮および言語興奮で、極度の疲労に至るもの。(たとえば緊張病性興奮。せん妄、急性躁病等にみられる)。

【参考文献】

Kolakowska T 著、北村俊則訳、Brief Psychiatric Rating Scale (BPRS). 用語集と評価方法。精神衛生研究、32:6-15. 1985

GAF

IX. BPRS・GAF

100-91	<ul style="list-style-type: none"> • 広範囲の行動にわたって最高に機能しており、生活上の問題で手に負えないものは何もなく、その人の多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない。
90-81	<ul style="list-style-type: none"> • 症状がまったくないか、ほんの少しだけ（例：試験前の軽い不安）。すべての面でよい機能で、広範囲の活動に興味をもち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない（例：たまに家族と口論する）。
80-71	<ul style="list-style-type: none"> • 症状があったとしても、心理社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である（例：家族と口論した後の集中困難）。社会的、職業的、または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない（例：一時的に学業に遅れをとる）。
70-61	<ul style="list-style-type: none"> • いくつかの軽い症状がある（例：抑うつ気分と軽い不眠）。または社会的、職業的、または学校の機能にいくらかの困難はある（例：時にずる休みをしたり、家の金を盗んだりする）が、全般的には機能はかなり良好であって、有意義な対人関係もある。
60-51	<ul style="list-style-type: none"> • 中程度の症状（例：感情が平板で、会話がまわりくどい、時にパニック発作がある）、または、社会的、職業的、または学校の機能における中程度の困難（例：友達が少ししかいない、仲間や仕事の同僚との葛藤）。
50-41	<ul style="list-style-type: none"> • 重大な症状（例：自殺念慮、強迫的儀式が重症、しょっちゅう万引する）、または社会的、職業的、または学校の機能におけるなんらかの深刻な障害（例：友達がいない、仕事が続かない）
40-31	<ul style="list-style-type: none"> • 現実検討かコミュニケーションにいくらかの欠陥（例：会話は時々非論理的、あいまい、または関係性がなくなる）。または、仕事や学校、家族関係、判断、思考、または気分など多くの面での重大な欠陥（例：抑うつ的な男が友人を避け、家族を無視し、仕事ができない。子供がしばしば年下の子供をなぐり、家庭では反抗的であり、学校では勉強ができない）
30-21	<ul style="list-style-type: none"> • 行動は妄想や幻覚に相当影響されている。またはコミュニケーションか判断に重要な欠陥がある（例：時々、滅裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている）、またはほとんどすべての面で機能することができない（例：1日中床についている、仕事も家庭も友達もない）。
20-11	<ul style="list-style-type: none"> • 自己または他者を傷つける危険がかなりあるが（例：死をはっきりと予期することなしに自殺企図、しばしば暴力的になる、躁病性興奮）、または時には最低限の身の清潔維持ができない（例：大便をぬりたくる）、またはコミュニケーションに重大な欠陥（例：大部分滅裂か無言症）。
10-1	<ul style="list-style-type: none"> • 自己または他者を傷つける危険が続いている（例：暴力の繰り返し）、または最低限の身の清潔維持が持続的に不可能、または死をはっきり予測した重大な自殺行為
0	<ul style="list-style-type: none"> • 情報不十分

療養生活に関するアンケート

※各設問について、あまり考えこまずに楽な気持ちでお答えください。

問1 次にあげたお薬についての文を読み、その内容についてあなたがそう思うか、または、そう思わないか、どちらか当てはまる方の数字に○をつけて下さい。質問のなかの薬とは精神科のお薬の事です。もしどちらもあなたの思うこととぴったり合わない場合には、だいたい当てはまる方をえらんで下さい。

- | | | |
|--------------------------|---------|-----------|
| 私の薬は、良いところが多くて、悪いところが少ない | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| 薬を続けていると、動きが にぶくなって調子が悪い | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| 薬を飲むことは、わたしが自分で決めたことだ | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| 薬を飲むと、気持ちがほぐれる | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| 薬を飲むと、疲れてやる気がなくなる | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| わたしは、具合が悪い時だけ薬を飲む | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| 薬を続けていると、本来の自分でいられる | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| 薬が私のところや体を支配するなんておかしい | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| 薬を続けていると、考えが混乱しないうすむ | 1) そう思う | 2) そう思わない |
| 薬を続けていれば、病気の予防になる | 1) そう思う | 2) そう思わない |

問2 次に、いま病院や地域で行われているさまざまな「援助サービス」に対する要望や、利用する場合のあなたの状況についてかがいます。あてはまる数字1つに○印をつけてください。

◆次のそれぞれの項目について、どれほど大切なことだと思われますか。	とても大切	大切	大切あまりでない	大切でない
病気の特徴や経過について具体例をまじえて学ぶこと	1	2	3	4
状況や立場に応じた対処の仕方を知ること	1	2	3	4
副作用や効能など薬に関して知ること	1	2	3	4
自分と同じような状況にある人たちと話し合うこと	1	2	3	4
他人の前で自分の気持ちや体験を話すこと	1	2	3	4
援助サービスをいかして家庭内が明るくなること	1	2	3	4
援助サービスを利用してはげましやなぐさめをもらうこと	1	2	3	4
援助サービスを積極的に利用し、役立たせること	1	2	3	4
◆次の項目について、どれほど同じような気持ちをお感じになりますか。	そう大い 思うに う	そう 思う う	思 わ な い そう	思 わ な い 全 く そ う
自分は精神科の病気などかかえていないと思う	1	2	3	4
このような問題をかかえるようになったことで混乱する	1	2	3	4
自分の病気について知りたいと思う	1	2	3	4
病気に対処するためにさまざまな手段をとりたいと思う	1	2	3	4

問3 あなたのまわりで、あなたを支え（ささえ）てくれる人についておたずねします。次の項目について、あなたを支え（ささえ）てくれる人はいますか。あてはまる番号に○をつけてください。
また、いる場合は、そのような人が何人いるか、人数を書いてください。

あなたが助けを必要としたとき、 実際にたよれそうな人はいますか。	家族に……………	いる（ 人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	いる（ 人）	2. いない
あなたがプレッシャーを感じたり、緊張しているとき に、リラックスするのを助けてくれる人はいますか。	家族に……………	1. いる（ 人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	1. いる（ 人）	2. いない
あなたの長所も短所も含めて、 すべてを受け入れてくれる人はいますか。	家族に……………	いる（ 人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	いる（ 人）	2. いない
あなたに何があっても、 あなたを気にかけてくれる人はいますか。	家族に……………	1. いる（ 人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	1. いる（ 人）	2. いない
あなたが落ち込んでいると感じるとき、気分が よくなるように助けてくれる人はいますか。	家族に……………	いる（ 人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	いる（ 人）	2. いない
あなたが動揺しているとき、 あなたを落ちつかせてくれる人はいますか。	家族に……………	1. いる（ 人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	1. いる（ 人）	2. いない

問4 次に、あなたの退院した後の生活についてうかがいます。以下のことがらについて、あなたはどれだけ自信がありますか。「0」（全く自信がない）から「10」（絶対に自信がある）の間で、今のあなたの気持ちにもっともあてはまる数字に○印をつけてください。

	自信が た なく い	ど ち ら も い え な い	自 信 が あ る
例) 定期的に運動をする	0—1—2—3—4—5—6—	7	8—9—10
規則的な生活を送る	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
食事をきちんととる	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
十分な睡眠をとる	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
約束どおり病院へ通う	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
処方されたくすりをきちんと飲む	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
病気や治療、くすり、症状などについて、知りたい情報を得る	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
くすりの副作用があらわれたとき、自分で気づく	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
病気の状態が悪くなりかけたら、病院に行く	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
つかれたと感じたら、自分で適当に休む	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
自分にあった方法（おしゃべり・睡眠・好きなことをするなど）で ストレスを解消する	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		
再発の注意サイン（不安・イライラ・眠れないなど）に自分で 気づき、適切に対応する	0—1—2—3—4—5—6—7—8—9—10		

	自信が ない	ま た 自 信 が あ る	ど ち ら も い え な い	絶 対 に 自 信 が あ る							
銀行・郵便局・デパート・商店などを必要に応じて利用する	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日中、職場・デイケア・作業所・仲間とのあつまりなどの場所に出かける	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
必要なときに公的な援助サービス（役所・保健所など）を利用する	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
自分から人とつき合ったり、友人をつくる	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
悩みごとや心配ごとを、家族や友人に相談する	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
家族とうまくつき合う	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
音楽・読書・ビデオ・スポーツなど、自分の好きなことを楽しむ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問5 あなたと社会との関係についてのご意見をうかがいます。以下のそれぞれの文章について、あなたの感じ方に最も近い回答それぞれ1つに○をつけてください。

	そう 思う	お お い に 思 う	そ う 思 う	思 わ な い	そ う 思 わ な い	ま た 自 信 が あ る
もし、私に働く機会が与えられたら、私はきっと働くことができるだろう	1		2		3	4
私が受ける援助サービスは、すべて私が自分で決める権利を持っていると感じている	1		2		3	4
自分が良い援助サービスを受けてないと思うとき誰のところに行くべきか知っている	1		2		3	4
私が全力を傾けることはどんなことでも、何とかこなすことができる	1		2		3	4
自分の人生で大切な多くのことを、私は自分で変えることができる	1		2		3	4
自分の自由時間の使い方について、私にはいくつもの選択肢がある	1		2		3	4
自分のリハビリ計画を作ったりより良くしていくことに、わたしの意見や考えが重視されている	1		2		3	4
将来わたしに起こることは、大部分が自分しだいで決まる	1		2		3	4
わたしは、他の人たちといっしょになって、精神保健サービス制度に影響を与えることができると思っています	1		2		3	4
わたしは、自分が成功者だと考える傾向がある	1		2		3	4

問6 ACTで受けた援助サービス（ご本人に対するサービスもご家族に対するサービスも含みます）についておたずねします。もっともあてはまる数字それぞれ1つに○をつけてください。

A. あなた方ご家族やご本人が受けた援助サービスの質はどの程度でしたか。	1) 大変よい	2) よい	3) まあまあ	4) よくない
B. あなた方ご家族やご本人が望んでいた援助サービスは受けられましたか。	1) まったく受けなかった	2) そうでもなかった	3) だいたい受けた	4) 十分に受けた
C. この援助サービスは、どの程度あなた方ご家族やご本人が必要としたものでしたか。	1) ほぼすべて必要としたもの	2) だいたい必要としたもの	3) いくらかは必要としたもの	4) まったく必要としたものではなかった
D. もし知人が同じ援助を必要としていたら、この援助サービスを推薦しますか。	1) 絶対にしない	2) しないと思う	3) すると思う	4) 絶対する

✧ 包括型地域支援生活プログラム（ACT）についてのアンケート ✧
 ～ACTに関する家族生活の実情と要望について～

※各設問について、あまり考えこまずに楽な気持ちでお答えください。
 ※このアンケートの中では、患者さんご本人のことを「本人」と省略しています。

✧ まず、はじめにご家族がかかえるご苦労からうかがいます。 ✧

問1 患者さんご本人をかかえるご家族としていろいろなご苦労があるかと思えます。退院してからのことを考えて、次のようなご苦労がどの程度ありますか。あてはまる数字1つに○印をつけてください。

	ない	少しある	大いにある
本人にかかる経済的負担	1	2	3
本人の世話で仕事に出られない	1	2	3
本人の世話で家事に手がまわらない	1	2	3
家庭内で口論が増えてくつろげない、一家だんらんの機会が少なくなった	1	2	3
本人をおいて留守ができない、自由に外出ができない	1	2	3
近所に肩身のせまい思いで、近所付き合いがうまくいかない	1	2	3
親戚とのへだたりができ、親せき付き合いがうまくいかない	1	2	3
自分だけの時間がもてなくなった	1	2	3
本人の世話で心身ともに疲れる	1	2	3
他の家族の結婚問題などで気苦労が多い	1	2	3
家族の将来設計がたてられない不安やあせりがある	1	2	3
服薬を続けさせる苦労がある	1	2	3
家族に迷惑をかけたたり暴力をふるったりすること	1	2	3
家族以外の人に迷惑をかけたたり暴力をふるったりすること	1	2	3
病状の急変や再発、あるいは自殺などの心配	1	2	3

問2 あなたは、ご本人を支援することが全体としてどのくらい自分の負担になっていると思いますか。あてはまる数字1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|-----------------|----------------|--------------------|------------------|---------------------|
| 1) 全く負担
ではない | 2) 多少負担
に思う | 3) 世間並みの
負担だと思う | 4) かなり負担
だと思う | 5) 非常に大きな
負担だと思う |
|-----------------|----------------|--------------------|------------------|---------------------|

問3 あなたは、全体として現在の生活にどのくらい満足していますか。あてはまる数字1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|-----------------|----------|--------|------------------|
| 1) 満足している | 2) まあ満足
している | 3) やや不満だ | 4) 不満だ | 5) どちらとも
いえない |
|-----------|-----------------|----------|--------|------------------|

問4 次に、ご本人に対してあなたが配慮したり協力なさっていることについておうかがいします。退院してからのことを考えて、次のことがらをあなたはどの程度なさっていましたか。最もあてはまる数字1つに○印をつけてください。

	よくしている	多少している	していない	ひとりできる
通院しているか関心をもって見まもる	1	2	3	4
通院するように働きかけたり、通院に同伴する	1	2	3	4
服薬しているか、関心を持って見まもる	1	2	3	4
服薬の世話や管理をしたり、病院から薬を取ってくる	1	2	3	4
病院と密接に連絡をとる	1	2	3	4
本人の状態の変化に気をつけている	1	2	3	4
本人の話にできるだけ耳をかたむける	1	2	3	4
本人が困っているとき相談にのる	1	2	3	4
生活にリズムがつくよう気をつける (起きる時間、寝る時間、食事の時間など)	1	2	3	4
本人の清潔や身だしなみに気をつける	1	2	3	4
本人にあった仕事を探すようアドバイスする	1	2	3	4
家事なども含め自分にあった仕事をするよう助言する	1	2	3	4
無理なく仕事(家事を含む)を続けているか気をつけている	1	2	3	4
趣味などの生活のほりを見つめるようアドバイスする	1	2	3	4
社会参加の機会を増やしたり友人を作るようアドバイスする	1	2	3	4
本人の病気について知るため勉強する	1	2	3	4
本人の将来のためお金や資産をたくわえる	1	2	3	4

問5 患者さんご本人に関する次の記述の中で、1～3のうち最もあてはまる数字1つに○印をつけてください。

	おおいに そう思う	少しそう思う	そういう ことはない
本人のことが、だんだん容易に理解できるようになってきた	1	2	3
本人は自分の人生の重要な一部である	1	2	3
本人からはそれほど多くのことを期待しない	1	2	3
本人をめぐる自分の人生を考えなければならないことに疲れた	1	2	3
本人といっしょにいて楽しい	1	2	3
本人に何が起きてももう気にしない	1	2	3
時がたつにつれて、だんだん本人のことでイライラするようになった もし本人が私のことを一人にしておいてくれたら 私も本人を一人にしておく	1	2	3
本人のために何かをすることはわずらわしくない	1	2	3
本人が良くなるよう、援助することができると思う	1	2	3
本人が生まれてこなければ良かったと思う	1	2	3

問6 以下のことがらについて、あなたはどれだけ自信がありますか。「0」（絶対に自信がある）から「10」（全く自信がない）の間で、あなたの今の気持ちにもっともあてはまる数字1つに○印をつけてください。

※「本人」は患者さんご本人のことです。

	絶対に自信 がある	どちらとも いえない	まったく 自信がない								
(例) 自分自身の努力をほめる	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人の回復をあせらずに見まもる	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人に精神疾患があることを受け入れる	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人に自分自身でできることをやらせる	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1日1回以上本人をほめる	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人のリラックスできる場をつくる	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人の仲間づくりを助ける	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
家族として精神科の薬とその副作用について理解している	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人がきちんと薬をのむように援助する	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人の症状（幻聴・妄想など）に対応する	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人の病状が悪くなった時病院に行くなど家族として適切な対応をする	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人の病気に関して知りたい情報をえる	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人の病気のことで自分自身を責めることをへらす	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人に関するあなたの不安をへらす	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
あなた自身の健康や楽しみのために時間をつかう	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人の行動による家族内のいさかきをへらす	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本人に対する援助を他の家族にもおこなってもらう	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
あなたひとりで悩まずに、心配ごとは家族や友人に相談する	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
同じような障害のある家族をもつ人たちと気持ちを共有する	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
必要な時に公的な援助サービス（役所・保健所など）を利用する	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問7 現在、病院や地域ではさまざまな「家族援助サービス」（家族教室など）がおこなわれようとしています。そのような援助サービスに対する要望や利用する場合のあなたの状況についてうかがいます。

あてはまる数字1つに○印をつけてください。

◆ 次の項目について、どれほど大切なことだと思われますか。

	とても 大切	大切	大 切 な い	あ ま り 大 切 な い	大 切 な い
本人の病気の特徴や経過について具体例をまじえて学ぶこと	1	2	3	4	4
自分の状況や立場に応じた対処の仕方を知ること	1	2	3	4	4
副作用や効能など薬に関して知ること	1	2	3	4	4
自分と同じような状況にある人たちと話しあうこと	1	2	3	4	4
他人の前で自分の気持ちや体験を話すこと	1	2	3	4	4
家族援助サービス（家族教室など）をいかして家庭内が明るくなること	1	2	3	4	4
家族援助サービスを利用して、はげましやなぐさめをもらうこと	1	2	3	4	4
家族援助サービスを積極的に利用し、役だたせること	1	2	3	4	4

◆次の項目について、どれほど同じような気持ちをお感じになりますか。

	大いに 思う	そう 思う	そう 思わない	全く 思わない
本人は精神科の病気などかかえていないと思う	1	2	3	4
本人がこのような問題をかかえるようになったことで混乱する	1	2	3	4
本人の病気について知りたいと思う	1	2	3	4
本人の病気に対処するためにさまざまな手段をとりたいと思う	1	2	3	4

問8 あなたのまわりで、あなたを支え（ささえ）てくれる人についておたずねします。次の項目について、あなたを支え（ささえ）てくれる人はいますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、いる場合は、そのような人が何人いるか、人数を書いてください。

あなたが助けを必要としたとき、 実際にたよれそうな人はいますか。	家族に……………	いる（	人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	いる（	人）	2. いない
あなたがプレッシャーを感じたり、緊張しているとき に、リラックスするのを助けてくれる人はいますか。	家族に……………	1. いる（	人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	1. いる（	人）	2. いない
あなたの長所も短所も含めて、 すべてを受け入れてくれる人はいますか。	家族に……………	いる（	人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	いる（	人）	2. いない
あなたに何があっても、 あなたを気にかけてくれる人はいますか。	家族に……………	1. いる（	人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	1. いる（	人）	2. いない
あなたが落ち込んでいると感じるとき、気分が よくなるように助けてくれる人はいますか。	家族に……………	いる（	人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	いる（	人）	2. いない
あなたが動揺しているとき、 あなたを落ちつかせてくれる人はいますか。	家族に……………	1. いる（	人）	2. いない
	友人・知り合いなどに…	1. いる（	人）	2. いない

◆ 上でお聞きした人たちからの支え（ささえ）について、あなたはどのくらい満足していますか。次のそれぞれについて、あてはまる数字1つを○で囲んでください。

	非常に満足	まあ満足	少し満足	少し不満	わりと不満	非常に不満
あなたが助けを必要としたとき、実際にたよれそうな人からの支え（ささえ）について	1	2	3	4	5	6
あなたがプレッシャーを感じたり、緊張しているときに、リラックスするのを助けてくれる人からの支え（ささえ）について	1	2	3	4	5	6
あなたの長所も短所も含めて、すべてを受け入れてくれる人からの支え（ささえ）について	1	2	3	4	5	6
あなたに何があっても、あなたを気にかけてくれる人からの支え（ささえ）について	1	2	3	4	5	6
あなたが落ち込んでいると感じるとき、気分がよくなるように助けてくれる人からの支え（ささえ）について	1	2	3	4	5	6
あなたが動揺しているとき、あなたを落ちつかせてくれる人からの支え（ささえ）について	1	2	3	4	5	6

現在利用しているACT(アクト:包括型地域生活支援)についてうかがいます。

問 9 ACT(アクト)で提供される①～⑮のサービスについてうかがいます。現在、これらのサービスは、あなたとご本人にとってどれだけ役に立っていますか。1から4のうち、あてはまる数字一つに○印をつけてください。

	とても役に立つ	多少は役に立つ	役に立たない あまり	まったく役に立たない
例) お金のやりくりの手伝い	1	2	3	4
①精神科医、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士などの様々な専門家が集まったチームでの支援	1	2	3	4
②利用者の自宅を訪問しての支援	1	2	3	4
③チームの担当者による、不安や困りごとについての相談	1	2	3	4
④一人暮らしをしたいとき、部屋探しなど必要な準備の手伝い	1	2	3	4
⑤入院が必要なとき、その手続きの手伝い	1	2	3	4
⑥食事、掃除、買い物などの様々な日常生活の支援	1	2	3	4
⑦薬の説明や服薬についてのアドバイス	1	2	3	4
⑧仕事をしたいとき、仕事探しの手伝いや仕事についた後の支援	1	2	3	4
⑨お金のやりくりの手伝い	1	2	3	4
⑩担当のスタッフによる、家族の不安や困りごとについての相談	1	2	3	4
⑪今ある社会資源(生活訓練施設や作業所、福祉ホームなど)をうまく活用するための支援	1	2	3	4
⑫より良い生活を送るために必要な知識を得ること	1	2	3	4
⑬以上のような支援がこのチームにより一括して提供されること	1	2	3	4
⑭24時間、土曜日曜もふくめて利用者の相談などに対応すること	1	2	3	4
⑮このチームの支援が必要なかぎり、支援を受け続けることができること	1	2	3	4

問 10 ACTで受けた援助サービス(ご本人に対するサービスもご家族に対するサービスも含まれます)についておたずねします。もっともあてはまる数字それぞれ1つに○をつけてください。

A. あなた方ご家族やご本人が受けた援助サービスの質はどの程度でしたか。	1) 大変よい	2) よい	3) まあまあ	4) よくない
B. あなた方ご家族やご本人が望んでいた援助サービスは受けられましたか。	1) まったく受けなかった	2) そうでもなかった	3) だいたい受けた	4) 十分に受けた
C. この援助サービスは、どの程度あなた方ご家族やご本人が必要としたものでしたか。	1) ほぼすべて必要としたもの	2) だいたい必要としたもの	3) いくらかは必要としたもの	4) まったく必要としたものではなかった
D. もし知人が同じ援助を必要としていたら、この援助サービスを推薦しますか。	1) 絶対にしない	2) しないと思う	3) すると思う	4) 絶対する
E. 受けた援助の量に満足していますか。	1) とても不満	2) どちらでもないか 少し不満	3) ほぼ満足	4) とても満足
F. 受けた援助サービスは、あなた方ご家族やご本人が自分の問題によりよく対処するのに役立ちましたか。	1) 大いに役立った	2) まあまあ役立った	3) まったく役立たなかった	4) 悪影響を及ぼした
G. 全体として一般的にいて、あなた方ご家族やご本人が受けた援助サービスに満足していますか。	1) とても満足	2) だいたい満足	3) どちらでもないか 少し不満	4) とても不満
H. また援助が必要となったとき、この援助サービスをもう一度受けたいと思いますか。	1) 絶対受けない	2) 受けないと思う	3) 受けると思う	4) 絶対受ける

問 10 ご本人あるいはあなた方ご家族がACTプログラムの利用に関して何か心配なことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1)利用者 と ACT スタッフとの人間関係	7)これまで利用してきた援助サービスとの関係は どうなるのか
2)本当に効果的なプログラムなのかどうか	8)重い精神障害をもつ人が地域でくらすことで、家 族の負担が増えるのではないかと
3)利用者の自立を妨げるのではないかと	9)重い精神障害をもつ人が地域でくらし、社会との トラブルが起きるのではないかと
4)利用者の生活が干渉されてしまうのではないかと	10)ACTの利用にどのくらいの費用がかかるのか
5)今の主治医との関係がどうなるのか	11)その他 ()
6)自宅にスタッフが訪問すること	12)心配ない

問 11 ACTプログラムについてどのように思われましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1)利用者の地域で生活する力を伸ばすプログラムで ある	6)ACTプログラムを利用すれば、利用者の生活状 況・生活の質は良くなると思う。
2)ACTプログラムを利用すれば、家族の負担が軽く なりそうだと思う	7)自分には関係がない
3)利用者が家族から自立する上で重要なプログラム だと思う	8)よくわからない
4)家族がお世話しきれなくなったとき、ACTプログ ラムなら安心してまかせられると思う	9)その他 ()
5)利用者が就労する上で重要なプログラムだと思う	

問 12 将来、ご本人およびご家族がACTを継続して利用していくことについて、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

	大いに そう思う	そう思う	そう思わ ない	わからない
今後継続してACTを利用することは、ご本人にとって役に立つ	1	2	3	4
今後継続してACTを利用することは、家族にとって役に立つ	1	2	3	4
今後継続してACTをご本人に利用して欲しい	1	2	3	4
今後継続してACTを家族として利用したい	1	2	3	4

問 13 ご記入になった方のACT利用者ご本人からみた続柄は、次のうちどれですか。

1) 父親	2) 母親	3) 夫または妻	4) 子ども	5) きょうだい	6) きょうだいの夫・妻
7) 祖父母	8) 義父	9) 義母	10) おじ・おば	11) その他 ()	

☘ ご協力ありがとうございました。質問は以上で終わりです ☘

記入日 年 月 日

ID: _____

調査日: ____年 ____月 ____日

ACT-J ケア必要度・社会的不利尺度評価用 面接基準 (利用者本人用)

1. 全般的な面接の進め方

- ・利用者本人用自記式調査票 問4「自己効力感尺度」を用いて、1項目ずつ確認する。
- ・その項目に「自信がない」場合には、具体的にどのようなことに自信がないかを確認する。その際、ケア必要度手引きに載せられている行動が、「面接基準」にも記されているので必要に応じて使用する。
- ・その項目に「自信がある」場合には、特に自信があること、それはどのように自信があるのか、いつ頃から自信を持っているのか、逆に自信がないことはないか、を確認する。同じく「面接基準」に関連する社会行動が記されているので必要に応じて使用する。

2. 「自己効力感尺度」に基づく補足質問

◆1) 規則的な生活を送る

(ケア必要度：a-2)生活のリズム/a-3) 個人衛生・みだしなみ/a-4) 掃除や片付け、洗濯]

・「自信がない」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。
どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。
どのようにすれば自信を持てるようになると思いますか。

・「自信がある」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。
「規則的な生活を送ること」について、逆に自信のないことがありますか。

「a-2. 生活リズム」で評価のめやすとなる社会行動 (_____ 点)

- 就寝や起床の時間がだいたい決まっている。起床・就寝などの生活のリズムがある
- 食事の時間が一定している
- 外来や約束などの予定に合わせて起きる
- 日中は着替えをする。布団から出る
- 適度な睡眠をとる(※安静が必要な場合は、睡眠時間が長くても医療上の必要性を考慮して判断する。)
- ほとんど一睡もできない日が続く◆
- 昼夜逆転の生活◆

「a-3. 個人衛生・みだしなみ」で評価のめやすとなる社会行動 (_____ 点)

- 洗面や手洗いや歯磨きなどを行う
- 毎日風呂に入る。もしくは、定期的に風呂に入る
- 整髪・ひげそりをする
- 毎日着替えをする。もしくは、定期的に着替えをする
- 季節や場所柄に適切な服装、身なり、化粧をする
- 悪臭がする◆

不衛生にしていることが原因で、皮膚や口腔等に疾患がある◆

「a-4. 清掃やかたづけ、洗濯」で評価のめやすとなる社会行動

(点)

- 自室は自分で掃除や片づけをする
- ゴミを定期的に捨てる
- 洗濯（洗う、干す、たたんでしまう）をする
- 布団の上げ下ろしを行う
- 不衛生のため、本人の部屋が悪臭やゴキブリ、ネズミ等の発生の原因となる◆
- 外からゴミを持ち込む◆

◆2) 食事をきちんととる

【ケア必要度：a-1) 必要な食事をとること】

・「自信がない」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。
どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。
どのようにすれば自信を持てるようになると思いますか。

・「自信がある」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。
「食事をきちんととる」について、逆に自信のないことがありますか。

「a-1. 必要な食事をとること」で評価のめやすとなる社会行動

(点)

※偏り過ぎない十分な量の食事をしている。

- 食事を調達する（外食、購入、自炊など。調達の方法は問わない）
- 十分な量の食事をとる
- バランスのよい食事をとる。食事の内容に気を配る
- 無茶食いや拒食、それに関連した嘔吐などの行為の有無◆
- 食生活上の問題による身体疾患がある場合の、食生活改善の必要性（例：糖尿病など）◆

◆3) 十分な睡眠をとる

【ケア必要度：a-2) 生活のリズム／c-2) 身体健康の管理】

・「自信がない」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。
どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。
どのようにすれば自信を持てるようになると思いますか。

・「自信がある」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。
「十分な睡眠をとる」について、逆に自信のないことがありますか。

「c-2 身体健康の管理」で評価のめやすとなる社会行動 (点)

- 風邪や腹痛など、医療上安静が必要な時は安静にしている
- 具合が悪いときには医者に行く、家族に相談するなどの療養行動をとる
- 生活習慣病などの慢性疾患がある場合、食事療法や薬物療法などを適切な治療行動を行っている
- 着衣や空調などによる適度な温度管理をしている
- 品質保持期限を無視して食品を食べる。腐敗物や異物を食べる◆
- 健康を害するような行動を頻繁にとる◆
- 上記の問題により、実際に健康を害している◆

◆4) 約束どおり病院へ通う

◆5) 処方されたくすりをきちんと飲む

【ケア必要度：c-1) 服薬管理】

・「自信がない」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】

それはいつ頃からですか。

どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。

どのようにすれば自信を持てるようになると思いますか。

・「自信がある」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】

それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。

「約束通り病院へ通う」「処方された薬をきちんと飲む」ことについて、逆に自信のないことがありますか。

「c-1. 服薬管理」で評価のめやすとなる社会行動 (点)

- 薬の残量に気を配っている。なくなったら主治医に相談するなど、適切に対応する
- 薬は自分で適切に管理する。薬を所定の場所に保管している
- 定期的に病院へ薬を取りに行く
- 副作用がひどく苦痛であった場合、医師や家族などに相談する等の何らかの対処をしている
- 拒薬をしている（例：飲まない方が調子がいいと思っている、自分の体の害になると思っている、など）◆
- 医師に制限されていても、アルコール類と薬を一緒にとる◆
- 薬を大量に飲んだり誤飲したりする◆
- 飲み忘れが多く調子を崩すことがある。自分の考えで薬の量や種類を調整し調子を崩す◆

◆6) 病気や治療、くすり、症状などについて、知りたい情報を得る

◆7) くすりの副作用があらわれたとき、自分で気づく

◆8) 病気の状態が悪くなりかけたら、病院に行く

◆9) つかれたと感じたら、自分で適当に休む

◆10) 自分にあった方法(おしゃべり・睡眠・好きなことをするなど)でストレスを解消する

◆11) 再発の注意サイン(不安・イライラ・眠れないなど)に自分で気づき、適切に対応する

【ケア必要度：g-2) 悪化時の対処】

・「自信がない」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】

それはいつ頃からですか。

どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。

どのようにすれば自信を持てるようになると思いますか。

・「**自信がある**」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】

それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。

「薬の副作用が現れた時、自分で気づく」「病気の状態が悪くなりかけたら、病院に行く」「疲れたと感じたら自分で適当に休む」「自分にあった方法でストレスを解消する」ことについて、逆に自信のないことがありますか。

「**g-2. 悪化時の対処**」で評価のめやすとなる社会行動 (点)

※時に対応が遅くなることがある。定期的な確認がないと、病状を悪化させてしまうことがある。

- 具合が悪くなった場合、そのことに自分で気づく
- 悪化時に周囲に助けを求めたり医療機関を訪れる
- 状態の悪化による再入院を繰り返している◆
- 周囲から指摘されてはじめて、具合が悪くなったことに気づく◆

◆12) 銀行・郵便局・デパート・商店などを必要に応じて利用する

◆14) 必要なときに公的な援助サービス(役所・保健所など)を利用する

【ケア必要度：d) 社会資源の利用】 【ケア必要度：a-5) 金銭管理、b) 安全の管理】

・「**自信がない**」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】

それはいつ頃からですか。

どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。

どのようにすれば自信を持てるようになるとおもいますか。

・「**自信がある**」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】

それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。

「銀行やデパートなどを利用する」「公的な援助サービスを利用する」ことについて、逆に自信のないことがありますか。

「**d. 社会資源の利用**」で評価のめやすとなる社会行動

d-1 交通機関の利用 (点)

※未知の路線の利用/既知の路線の利用。

- 知らない場所でも、交通機関を利用して一人で出かける
- 自動券売機が使える
- 利用できる交通機関の種類が限定されている。行ける場所が限定されている◆

d-2 公共機関・金融機関の利用 (点)

※はじめての手続きでも心配ない。

- 証明書の発行や各種手続きができる
- 知らない手続きでも、人に聞いたり調べたりして自分で行う
- 金融機関からお金を下ろす
- 金融機関にお金を預けたり、公共料金を振り込んだりする
- 公共機関や金融機関の窓口で、一般的な事務上の説明を理解できる
- 各種機関からの連絡や通知に対処できる

d-3 電話の利用 (点)

- 自分から電話をかけることができる。必要な番号を調べる
- かかってきた電話に出る、その応対をする
- 事務的なことであれば、適切に用件を伝える
- 不適切な相手・時間帯に電話をかける◆
- 電話のベルを怖がり、自分からは電話にでない◆

「**a-5 金銭管理**」で評価のめやすになる社会行動 (点)

※1ヶ月程度のやりくり、1週間程度のやりくり。

- 計画的な金銭管理を行う。一ヶ月のやりくりができる
- 一週間のやりくりができる
- 収入に見合った買い物をする。または、家族の収入に見合った額を小遣いとして要求する
- お金の計算ができる
- 金銭の貸借や支払いでトラブルを起こす◆
- 必要な経費を払うことができない（例：家賃や水道光熱費など）◆
- 持っているお金を見さかいなしに使ってしまう（例：通信販売で物を買すぎる、など）◆

「b. 安全の管理」で評価のめやすになる社会行動

b-1 火の始末

(点)

- タバコやストーブ、こたつ、ガス等の火の始末が適切にできる
- ものを焦がしたり燃やしたりしないように、火気には常に気をくばっている
- ものを焦がしたり、誤って火の消し忘れをしたことがある。
- 灰皿を適切に管理している
- 放火癖が現在ある。または放火の経歴がある◆
- 不注意で頻繁に火傷をする◆

b-2 大切な物の管理

(点)

- 大切な物の置き場所を決めている。所定の場所に保管するように習慣づけている
- 大切な物を適切に管理している。なくす、忘れる、放置するということは、めったにない
- 大切な物の価値を認めず、捨てたり、壊したり、人に簡単にあげてしまったりする◆

**◆13) 日中、職場・デイケア・作業所・仲間とのあつまりなどの場所に出かける
【ケア必要度：f-1)自分なりの社会的役割をもつ】**

・「自信がない」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。
どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。
どのようにすれば自信を持てるようになると思いますか。

・「自信がある」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。
「日中の活動の場、集まりなどの場所に出かける」ことについて、逆に自信のないことがありますか。

「f-1. 自分なりの社会的役割を持つ」で評価のめやすとなる社会行動

(点)

- ※現在の状態に対して周りの人たちはどのようにするように言っているか。助言・促しは？
- 社会的な役割を継続的に持つ
 - 社会的な役割は持っているが、極めて限定されている◆
 - 社会的な役割を継続的に持つことに意味を見いださない。拒否する◆

***社会的役割における「家事」の基準**

主婦のように家庭を切り盛りしている場合は1)とします。「食事の片付け」「買い物」「風呂を沸かす」、など役割が限られている場合は、それが本人の状態を考えて最大限の役割であっても2)あるいは3)とします。

◆15) 自分から人とつき合ったり、友人をつくる

【ケア必要度：e）対人関係】

・「**自信がない**」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。

どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。
どのようにすれば自信を持てるようになると思いますか。

・「**自信がある**」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】

それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。

「人と付き合ったり友人を作る」ことについて、逆に自信のないことがありますか。

「e. 対人関係」で評価のめやすとなる社会行動

e-1 協調性（主に、家族以外との関係について評価） () (点)

- 喧嘩や口論などの対人関係のトラブルを避ける
- 対人関係上のトラブルが起きた場合、それを自分で解決できる
- 自分本位の行動をすることがある。人とどう付き合ったらよいか分からない
- 人を拒否したり、不快にさせるような言動をする◆

e-2 自発性 () (点)

- 道をきいたり、分からないことを尋ねるなど、必要時に人に話しかける
- 初対面の人に自分から挨拶をする
- 友人と約束をして出かける
- 人と話すことを拒む◆

e-3 とない近所とのつきあい () (点)

- 近所の人に挨拶をする
- 町内会で期待される役割・当番（回覧版をまわす、地区の清掃をする等）を担当する
- ゴミの分別回収に協力する
- 近所の人に無闇に苦情を言う、あるいは苦情を言われるなどのトラブルを起こす◆
- 近所の人に、物品や金銭など何らかの援助を頼りすぎる◆
- 近所づきあいに無関心である◆

e-4 友人等とのつきあい () (点)

- 他人といると不安になる。人見知りをする
- 友人とのつきあいで喧嘩や口論などのトラブルを起こすことがある。継続的なつきあいができない◆
- 友人を作ったり継続してつきあうことに興味が無い。友人が出来そうな場所から遠ざかっている◆
- 友人を作ることを拒否している◆

◆16) 悩みごとや心配ごとを、家族や友人に相談する

【ケア必要度：g-1) 心配事の相談】

・「**自信がない**」場合：

具体的には、どのようなことに自信がないのですか。【以下の行動リスト参照】
それはいつ頃からですか。

どのような時に特に自信がありませんか。逆に自信を持てることもありますか。
どのようにすれば自信を持てるようになると思いますか。

・「**自信がある**」場合：

特に自信があることはどのようなことですか。【以下の行動リスト参照】

それはいつ頃からですか。どのような時に特に自信がありますか。

「悩み事や心配事を相談する」「病気や治療、薬、症状などについて、知りたい情報を得る」ことについて、逆に自信のないことがありますか。

「g-1. 心配ごと（ストレスを受けた場合）の相談」で評価のめやすとなる社会行動